



録画配信の
2次元コード

田中 寿夫
光と風

これでいいのか市役所の職場環境 早急にパワハラ対策をすべき

Q 令和6年度から現在まで、メンタル相談等の受け付け件数と解決に至った件数は

A 総務部長 メンタルヘルス相談が184件、精神科医による産業医面談が29件である。

Q 昨年10月の職員ハラスメントの調査結果で、過去2年以内に、パワハラを受けたとの回答は何名か。相手方で一番多かったのは

A 総務部長 パワハラを受けたと回答した人数は78名、最も多かった相手方は上司や先輩である。

Q パワハラと感じた事柄について、主なものの件数は

A 総務部長 侮辱、暴言、名誉棄損、精神的な攻撃が43件、不機嫌をアピールなどの威圧的な行為が37件、人前で強く叱責する行為が28件、会議に呼ばない、名前を呼ばない、無視、仲間外しが17件、必要な情報や業務を与えないが17件、実現不可能な業務、能力を超えた業務及び無駄な業務の強要が15件である。

Q 以前には同様の調査を行っていたのか。その防止のための対策を取っていたのか

A 総務部長 個別の相談を受けていたが、調査は実施していない。本年4月から、ハラスメント対策等、職員の健康管理を担当する安全衛生担当課長を設置することから、今後の対策に反映させる。



録画配信の
2次元コード

笹本 英輔
健政会

朝の「小1の壁」解消は/ 部活動の地域展開の今後を問う

◆朝の空白時間が生む「小1の壁」

Q 市の実態調査と今後の取り組みは

A 子ども支援部長 小学校入学後は保護者の出勤時間がこどもの登校時間より早くなるケースがあり、仕事と子育ての両立への影響が生じる、「朝の小1の壁」の課題をもたらすと考える。埼玉県の「朝のこどもの居場所づくりモデル事業」の成果や利用状況などを踏まえ、課題について研究していく。

◆市長に問う 部活動改革の方向性

Q 多くの市民がまだ十分理解していない中で改革を進める理由は。部活動の課題と今後は

A 学校教育部長 少子化による部活動の維持困難と、教職員の長時間勤務解消が喫緊の課題である。国・県の方針に基づき、生徒の活動機会を確保するため、令和8年度からの実行期間を見据え、まずは休日の部活動から段階的に地域クラブ活動への移行を推進するもの。

A 市長 多くの関係者の意見を丁寧に聞き、方針を決定していく姿勢を堅持する。人材バンクの構築、保護者負担の軽減を最大限図り、活動拠点では学校施設や公民館等の社会教育施設を活用することも想定し、現場の不安をひとつひとつ解消していく取り組みを続けていく。



その他のテーマ▶柏原中学校入口交差点の課題
▶柏原小学校入口交差点の改良は